

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-47

補助事業名 平成 22 年度自転車社会の促進補助事業

補助事業者名 財団法人 自転車産業振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車の製造、普及、流通等の各分野における活性化促進事業を実施するほか、自転車小売店後継者育成、自転車消費者安全対策推進、自転車環境・安全技術促進支援、自転車情報収集整備提供等を行い、環境にやさしい自転車社会の促進を図り、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① 自転車活性化促進

自転車活性化促進事業として、利用者ニーズ等新自転車研究開発（競技用自転車及び部品の研究開発）を実施するとともに、サイクルモードインターナショナル展（東京・大阪）及び自転車市民レース 4 会場で高付加価値自転車の利用普及を行った。また、高齢者用自転車の試乗会を開催するとともに、幼児 2 人同乗用自転車の利用実態調査を行った。



サイクルモードインターナショナル 2010 東京 メンテナンス啓発ブース展開
(平成 22 年 1 1 月 5 日 幕張メッセ)



高齢者用自転車の試乗会（平成 22 年 11 月 11 日八王子中央自動車学校）

② 自転車小売店後継者育成

自転車小売店後継者育成事業として、スポーツ車の需要・乗用人口の拡大を図るため、自転車メカニシャン養成事業を開催した。また、自転車小売店の活性化を図るため、自転車小売店活性化研修会の開催、研修会への講師派遣を行った。



自転車小売店活性化研修会の開催
（平成 22 年 12 月 2 日 日暮里 ホテルラングウッド）

③ 自転車消費者安全対策推進

自転車消費者安全対策推進事業として、自転車安全対策連絡協議会、自転車安全対策専門部会の開催、消費者向け自転車安全広報、自転車安全点検全国普及活動等の諸事業を実施し、製品の安全性確保、品質向上及び使用過程における安全点検等を図った。また、自転車の安全使用指針の検討において、自転車の標準使

用条件及び長期使用に係る問題点を提示するとともに、内外自転車規格の調査検討、並びに規格改正案を取りまとめ、標準化を図るとともに業界への周知を図った。

④ 自転車環境・安全技術促進支援

製品の長寿命化促進のため長寿命化設計された折り畳み自転車を開発・試作し、自転車の3R設計促進を行った。また、三輪自転車のフレームの試験評価方法の提案を行い、安全性に配慮した三輪自転車の開発を支援した。



長寿命化設計による折り畳み自転車展開催

(平成 23 年 2 月 1 日～3 月 27 日 科学技術館 2 階自転車文化センター内)

⑤ 自転車情報収集整備提供

自転車関連情報整備提供事業として、自転車関連の生産、流通、消費、貿易等各種統計・技術情報等を収集整備し、広く情報提供した。

2. 予想される事業実施効果

① 自転車活性化促進

利用者ニーズ等新自転車研究開発（競技用自転車及び部品の研究開発）の実施により、今後市場に供給され消費者に利用されることが期待されているほか、サイクルモードインターナショナル展（東京・大阪）及び自転車市民レース 4 会場にて高付加価値自転車の利用普及活動を実施したことにより、自転車利用者に対して広く高付加価値自転車の取り扱い方法や日常のメンテナンス等の普及に寄与できた。また、高齢者用自転車の試乗会を開催するとともに、幼児 2 人同乗用自転車の利用実態調査を行ったことにより、今後の製品開発の参考となる資料を提供することができ、今後利用者ニーズに沿った製品開発につながることを期待できる。

② 自転車小売店後継者育成

高度な技術を持ったスポーツバイクメカニック養成により、消費者のニーズに即した技術・知識・情報の提供が可能となり、国内におけるスポーツ車需要の拡大と利用促進が期待できる。また、自転車小売店活性化研修会及び講師派遣により、組合代表者等の強力なリーダーシップの発揮が期待されるとともに後継者育成等に対する積極的な取り組みが期待できる。

③ 自転車消費者安全対策推進

自転車総合安全対策の施策体系に基づき、自転車業界が一致協力して安全対策を講じることにより消費者の安全確保に寄与するとともに、消費者向け自転車安全対策広報の実施により自転車メンテナンスの重要性の啓蒙に寄与することができたほか、自転車安全点検全国普及活動により、使用過程における製品事故の未然・再発防止策の推進並びに消費者に対する乗用安全意識の啓蒙普及による自転車の安全利用の一層の促進が期待できる。また、自転車の安全使用指針の検討において、提示した自転車の標準使用条件を基にして、経年劣化による事故を未然に防ぐという製品安全の考えが浸透していくと考えられるとともに、長期使用可能な自転車の製品開発への貢献が期待できる。JIS 原案作成の業界意見を取りまとめ、改正が必要な2規格の改正案を策定したほか、新たに自転車キャリアの強度規定を策定すべく、検証試験を行い報告書を取りまとめるなど効率的・効果的に改正作業を実施することで、製品の安全性確保及び品質向上に寄与できた。また、日本が主体性を持って取り組んだ ISO/WD4210 改正案については、国際的にも高く評価されており、国際規格制定に関しての貢献が期待される。

④ 自転車環境・安全技術促進支援

折りたたみ自転車フレーム体の特性を把握することで、折りたたみ自転車の長寿命化設計に必要な情報を業界に提供することができた。また、三輪自転車の試験評価方法を提案し、効果的に実施することにより、安全性に配慮した三輪自転車の普及並びに利用者の安全確保が期待できる。

⑤ 自転車情報収集整備提供

本事業により収集し整理分析した各種自転車関連資料・情報等をデータベースにより提供したことにより、業界及び関係機関の共有財産として業界振興施策の策定、安全対策等のための基礎資料として有効活用されるほか、内外ビジネス情勢の変化に対して、業界が迅速・適切に対応するための貴重な広報資料として大いに役立つものと期待される。

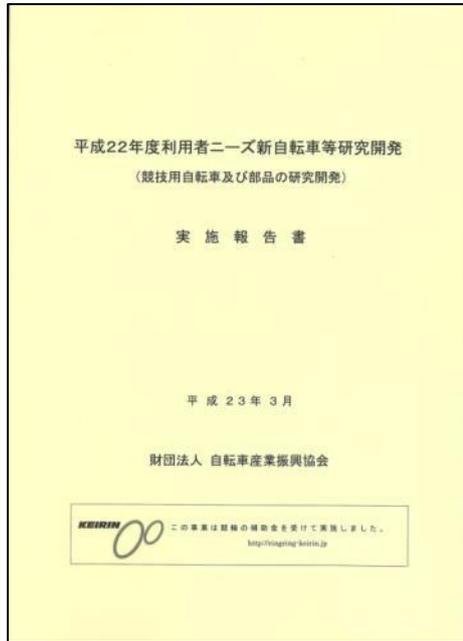
3. 本事業により作成した印刷物等

① 自転車活性化促進

・平成22年度利用者ニーズ新自転車等研究開発実施報告書（19頁）

競技用自転車及び部品の製作を行う企業または個人を公募・選考の上、チ

タン合金製ロードレーサーフレームなど計6件の研究開発を実施し、それぞれの研究開発に係る報告を取りまとめた。



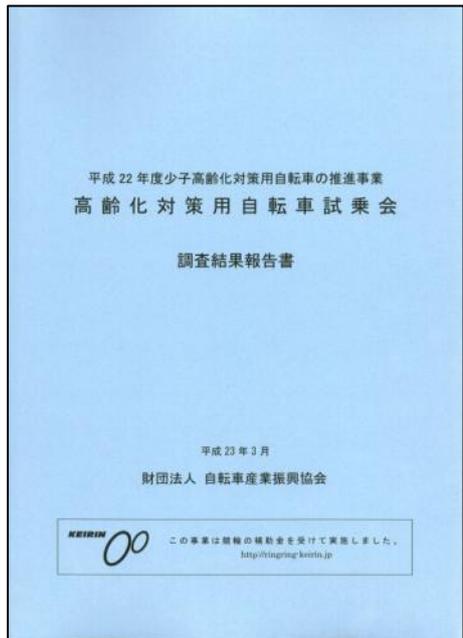
目 次	
軽量でより安全なチタン合金製ロードレーサーフレーム	2
シクロクロス用カンチプレーク	6
高性能競技用自転車タイヤ	8
新構造トラック競技用ペダル	12
クロモリ製オーバーサイズトラックレーサー用ハンドルバーステム	14
競技用フレーム用ロスタックス製ラジ各種	16

[h](#)

http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2011/03/00000537_20110330140644.pdf

・高齡化対策用自転車試乗会調査結果報告書（119頁）

高齢者用自転車の開発普及を進めるに当たって、高齢者用自転車（試作車）を65歳以上の高齢者に実際に試乗をいただき、試乗後にアンケート調査により回答していただいた改良、改善等に向けての率直な意見、感想等の評価結果を取り纏めた。



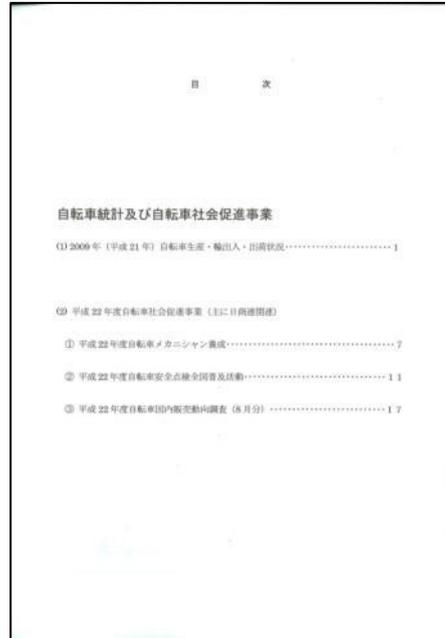
目次	
まえがき	
序章 調査概要	6
(1) 調査の目的	6
(2) 調査の趣旨	6
① 調査対象	6
② 調査地域・会場	6
③ 標本数	6
④ 標本抽出方法	6
⑤ 調査方法	6
⑥ 調査実施時期	6
⑦ 調査実施場所	6
(3) 試乗車一覧	7
(4) 試乗会運営について	8
(5) 試乗会場について	10
(6) 回答者の属性	12
(7) 調査結果の見方	14
(8) ポートフォリオ分析について	15
① ポートフォリオ分析の目的	15
② ポートフォリオ分析マップの見方	15
③ ポートフォリオ分析例	16
第1章 調査結果の要約	17
(1) 株式会社オーアンドエム試乗車について	17
(2) 株式会社サキモトテクノ試乗車について	18
(3) フジシステム株式会社試乗車について	19
(4) 株式会社ミヤタシステム試乗車について	20
(5) 藤田製作所試乗車について	21
第2章 試乗車ごとにみる全体評価	23
(1) 試乗前の購入意向	23
(2) 試乗後の保有評価	23
(3) 試乗後の購入意向	24

http://www.jbpi.or.jp/data/atatch/2011/03/00000535_20110329100914.pdf

② 自転車小売店後継者育成

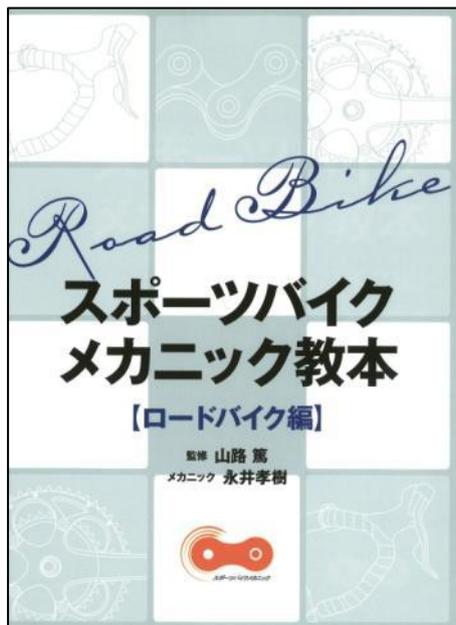
・ 自転車統計及び自転車社会促進事業（17頁）

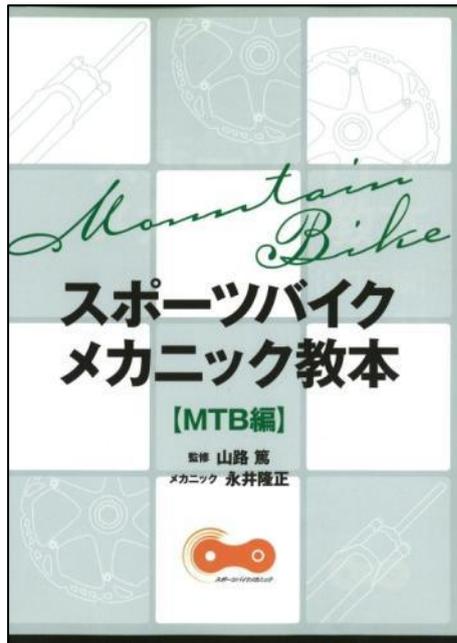
研修会の資料として、自転車統計及び自転車社会促進事業説明資料。



・ スポーツバイク組立整備の教科書（ロードバイク編、MTB編）

自転車小売店の組立技術の向上、技術レベルの底上げを目的に、スポーツバイク組立整備の教科書として作成。





CONTENTS

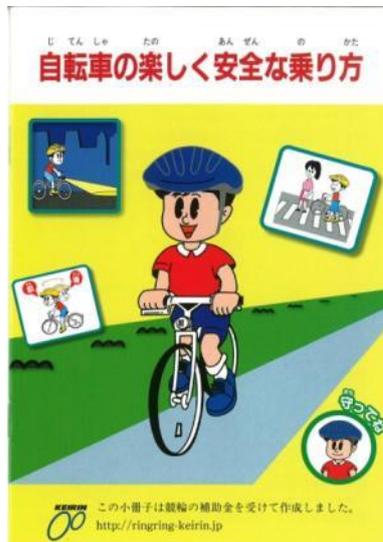
001 スポーツバイクメカニック教本について	054 洗車をビジネスにする
002 七分割に必要な工具とトルクレンチの使用	064 [Professional's Basics] アルミの品質について
第1章 七分割を完成させる	
006 組み立ての準備	066 第2章 プロショップならではのテクニク
008 キズ・塗装状態の確認	066 入組したフレームの点検①
010 前輪の取付	066 リアエンドの精度確認など
012 前輪の取付	066 入組したフレームの点検②
014 ツイックリリースの締め方	066 リアサスペンションの確認
016 ハンドルまわりのセットアップ	071 ヘッドセットのフェイシング
020 ハッドセットの交換と調整	074 ヘッドセットの圧入
022 フリーホイールの点検調整	076 コラムのカット
025 [Professional's Basics] ペアリングの仕組み	078 旧フレームのクランプとフェイシング
026 ディスクブレーキの取付と調整①	081 フロントディレイターの取付と調整
028 ディスクブレーキの調整とキャリパーの固定	085 インナーワイヤーの点検・ハンダ付け
028 クリアランスの確認とワイヤーの取り直し	086 シマノチェーンの点検と接続
030 Vブレーキの取付と調整①	086 スラムチェーンの切断と接続
030 Vブレーキの点検調整	090 チェーン長の決め方と調整
032 Vブレーキの取付と調整②	094 クランクの取付・取外し①
032 ワイヤの固定	094 旧クランク
034 Vブレーキの取付と調整③	100 クランクの取付・取外し②
034 左右のクリアランス調整	100 スクエアアーバークランク
036 Vブレーキの取付と調整④	102 油圧式ディスクブレーキの取り直し
036 インナーワイヤーの固定方法	104 機械式ディスクブレーキの取り直し
038 シートポストとステムの取付①	106 ローターの取付と取外し
038 シートポストの取付	108 クリップの効率的な交換方法
040 シートポストとステムの取付②	110 クリップとペダルの取付と取外し
042 サドルの取付	114 チェアブルスタイアの効率的な取付と取外し
042 リアディレイターの調整	120 シマノハブの互換性確認とオーバーホール
046 フロントディレイターの調整	126 シマノハブのメンテナンスとオーバーホール
050 サスペンションの初期設定	130 ホールの磨き直し
052 商品お直し直しチェックシート	134 トラブルシューティングの方法
053 [Professional's Basics] ワイヤの仕組み	136 [Professional's Basics] タイヤサイズの確認
	139 [資料] ドライアフトレイン互換性表

③ 自転車消費者安全対策推進

・「リエチ先生のぬきうち！自転車健康診断」DVD



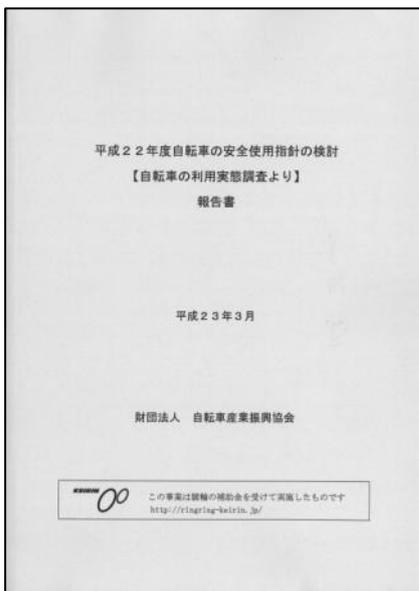
・小冊子「自転車の楽しく安全な乗り方」



- ・安全点検カード
- ・安全点検実施伝票
- ・のぼり旗

・平成22年度自転車の安全使用指針の検討報告書（190頁）

自転車使用状況等の現状把握のため、利用者、メーカー及び販売店に対する自転車利用実態調査をインターネット並びにヒアリングにより実施した。それらの結果に基づき、自転車の長期使用に係る問題点及び自転車の標準使用期間を設定するための標準使用条件（案）を提示した。



目次	
1. 目的	1
2. 調査の経緯	1
3. 自転車の利用実態調査	2
3.1 利用者アンケート調査	2
3.1.1 調査の経緯	2
3.1.2 調査項目	3
3.1.3 スクリーニング調査結果	5
(1) 自転車の種類別所有状況	5
(2) 主に使用している自転車の種類	6
(3) 主に使用している自転車の使用目的	6
(4) 主に使用している自転車の使用頻度	10
(5) 主に使用している自転車の購入時期	13
(6) 主に使用している自転車の購入時期（保有開始時期）	15
(7) 主に使用している自転車の購入価格	17
(8) 主に使用している自転車の保管場所	20
3.1.4 本調査結果	23
(1) 走行場所	23
(2) 走行場所の特徴	26
(3) 走行場所の起伏状況	28
(4) 1日の平均走行時間	30
(5) 駐輪場所	33
(6) 駐輪時の監視の有無	36
(7) カギのかけ方	39
(8) 雨天時のシティサイクルの使用状況	40
(9) シティサイクルの平均年齢	43
(10) 事前の情報収集	44
(11) 試乗状況	47
(12) 購入の決断時期	49
(13) 廃棄使用年数	50
(14) 前に使用していた自転車の使用を止めた理由	51
(15) 「壊れた」「古くなった」と思った理由	55
(16) 前に使用していた自転車の平均の有無	59
(17) 前に使用していた自転車の処分	61
(18) 前に使用していた自転車の使用年数	63
(19) 前に使用していた自転車の希望使用年数	66
(20) 修理費について	68
(21) 専門店への修理依頼回数	72
(22) 修理を行わない理由	75
(23) 修理を依頼した専門店	76
(24) 定期的なメンテナンスの有無	77
(25) 点検チェックの有無	78

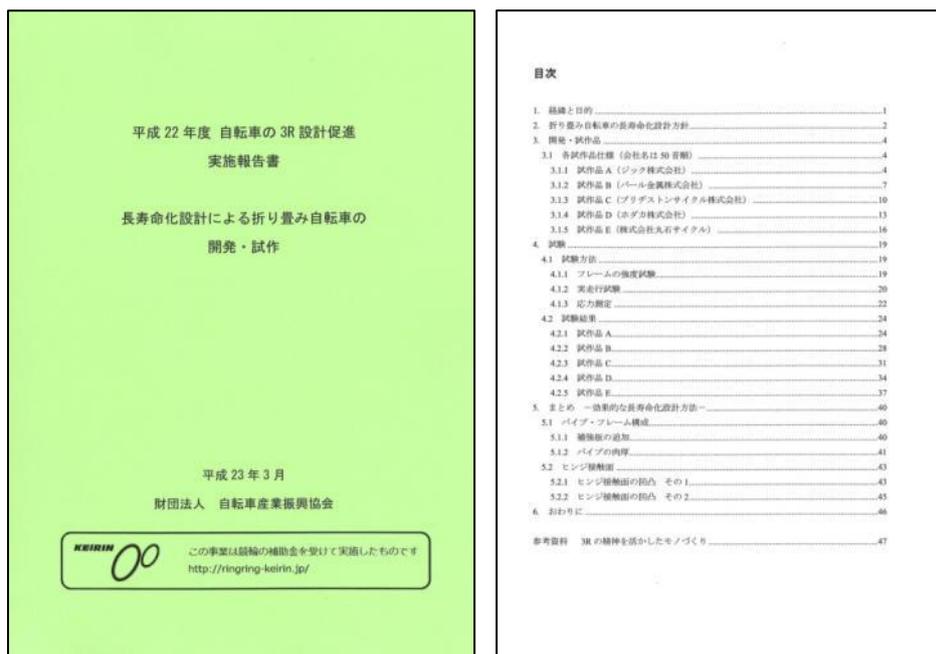
(22) 販売店に期待する販売対応	124
(23) メーカーに期待する商品戦略	124
(24) 販売店のユーザーに対するメンテナンス指導への期待	125
(25) 販売店におけるメンテナンスの実施状況	125
(26) 販売店におけるメンテナンス事業の推進意向	126
4. 自転車（シティサイクル）の標準使用条件の検討	127
4.1 自転車の標準使用条件設定項目	127
4.2 利用目的について	130
4.3 使用時間について	131
4.4 標準条件について	132
4.4.1 保管場所	132
4.4.2 利用場所	133
4.4.3 点検整備	134
4.4.4 雨天時の使用の有無	135
4.5 費用条件について	136
4.6 標準使用条件（案）	136
5. 自転車を長期に使用するために	138
5.1 利用者に対するアンケート結果から	138
5.1.1 前回使用自転車の使用年数と購入価格の関係	139
5.1.2 前回使用自転車の使用年数と購入時期の関係	140
5.1.3 前回使用自転車の使用年数と使用頻度の関係	141
5.1.4 前回使用自転車の使用年数と調査状況の関係	142
5.1.5 前回使用自転車の使用年数と使用目的の関係	143
5.1.6 前回使用自転車の使用年数と保管場所の関係	144
5.1.7 前回使用自転車の使用年数と雨天時利用の関係	145
5.1.8 前回使用自転車の使用年数と点検チェックの関係	146
5.2 製造・販売事業者ヒアリング結果から	147
6. おわりに	150
参考文献	
1. 自転車の利用実態調査	参-1
2. 「長期使用製品安全点検制度」	
「長期使用製品安全点検制度」の概要	参-3.1
3. 他業種の事例	参-3.3

(22) 販売店に期待する販売対応	124
(23) メーカーに期待する商品戦略	124
(24) 販売店のユーザーに対するメンテナンス指導への期待	125
(25) 販売店におけるメンテナンスの実施状況	125
(26) 販売店におけるメンテナンス事業の推進意向	126
4. 自転車（シティサイクル）の標準使用条件の検討	127
4.1 自転車の標準使用条件設定項目	127
4.2 利用目的について	130
4.3 使用時間について	131
4.4 標準条件について	132
4.4.1 保管場所	132
4.4.2 利用場所	133
4.4.3 点検整備	134
4.4.4 雨天時の使用の有無	135
4.5 費用条件について	136
4.6 標準使用条件（案）	136
5. 自転車を長期に使用するために	138
5.1 利用者に対するアンケート結果から	138
5.1.1 前回使用自転車の使用年数と購入価格の関係	139
5.1.2 前回使用自転車の使用年数と購入時期の関係	140
5.1.3 前回使用自転車の使用年数と使用頻度の関係	141
5.1.4 前回使用自転車の使用年数と調査状況の関係	142
5.1.5 前回使用自転車の使用年数と使用目的の関係	143
5.1.6 前回使用自転車の使用年数と保管場所の関係	144
5.1.7 前回使用自転車の使用年数と雨天時利用の関係	145
5.1.8 前回使用自転車の使用年数と点検チェックの関係	146
5.2 製造・販売事業者ヒアリング結果から	147
6. おわりに	150
参考文献	
1. 自転車の利用実態調査	参-1
2. 「長期使用製品安全点検制度」	
「長期使用製品安全点検制度」の概要	参-3.1
3. 他業種の事例	参-3.3

④ 自転車環境・安全技術促進支援

・平成22年度自転車の3R設計促進実施報告書（57頁）

平成21年度自転車の3R設計促進事業にて募集し、応募のあった事業参加企業7社の中から、開発・試作を希望する5社を選考の上、同事業で策定した折り畳み自転車の長寿命化設計方針を基に計5件の開発・試作を実施した。また、それぞれの開発・試作に係る報告と当会技術研究所が実施した試験内容を報告書に取りまとめた。



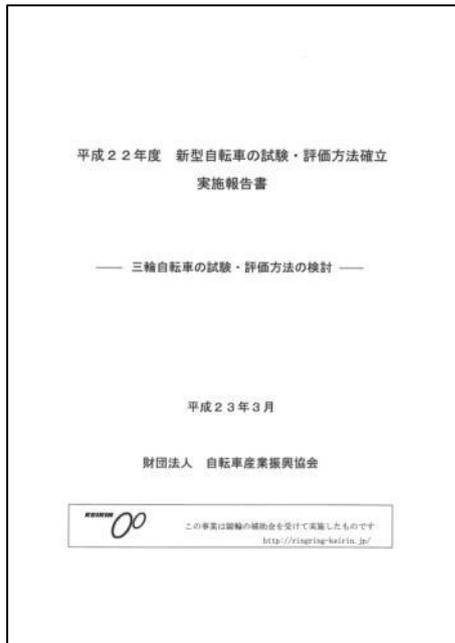
http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2011/04/00000541_20110401103142.pdf

http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2011/04/00000541_20110401103207.pdf

http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2011/04/00000541_20110401103235.pdf

・平成22年度新型自転車の試験・評価方法確立実施報告書（56頁）

三輪自転車の普及支援と安全性確保のため、市販されている三輪自転車について乗員による実走行データを収集するとともに、ダブルドラム式耐久試験機にクランク駆動方式の機能を追加し、駆動方式による応力比較や実走行との応力比較を行い、三輪自転車用フレームの試験・評価方法を確立した。さらに、三輪自転車の特徴や挙動等を基礎データとして収集し、駐輪時や走行時等に考慮すべき点、留意すべき点を明らかにし、取りまとめを行った。今後、市場に出る三輪自転車は、これらの留意点を検討し、フレームについては安全性の確保、品質保証のためにダブルドラム式耐久試験による試験方法を有効に活用されることを期待する。



目次	
1. 経緯と目的	1
2. 単車三輪自転車の主要寸法および構造調査	2
2.1 試験自転車の選定	2
2.2 主要寸法調査および構造調査結果	2
2.3 前後車輪分けて重量測定結果	2
3. 三輪自転車の基礎データ	6
3.1 試験内容	6
3.1.1 ハンドルの操舵力測定	6
3.1.2 駆動時の傾斜安定性試験	6
3.1.3 制動性能試験	6
3.1.4 同乗性能試験	6
3.2 試験結果	6
3.2.1 ハンドルの操舵力測定結果	6
3.2.2 駆動時の傾斜安定性試験結果	6
3.2.3 制動性能試験結果	6
3.2.4 同乗性能試験結果	6
4. 実走行による三輪自転車の基礎データ	16
4.1 概要	16
4.2 データ収集	16
4.2.1 実施内容	16
4.2.2 走行条件	16
4.2.3 応力測定結果	16
4.3 実走行による基礎データ収集	16
4.3.1 実施内容	16
4.3.2 応力測定結果	16
4.3.3 車載器測定結果	16
4.3.4 聞き取り調査結果	16
5. フレーム強度試験条件の検討	35
5.1 概要	35
5.2 ダブルドラム式耐久試験機による試験方法概要	35
5.3 駆動方式の違いによる応力比較	35
5.3.1 試験内容	35
5.3.2 比較試験結果	35
5.4 基礎データ収集による実走行との応力比較	35
5.4.1 実施内容	35
5.4.2 応力比較結果	35
5.5 フレーム強度試験方法の検討	35
5.6 市販三輪自転車のフレームの強度試験	35
5.6.1 試験条件	35
5.6.2 試験結果	35
6. 三輪自転車の試験・評価方法	49
6.1 三輪自転車のフレームの強度試験	49
6.2 三輪自転車の安全乗用のための要件の考え方	49
7. 終わりに	53

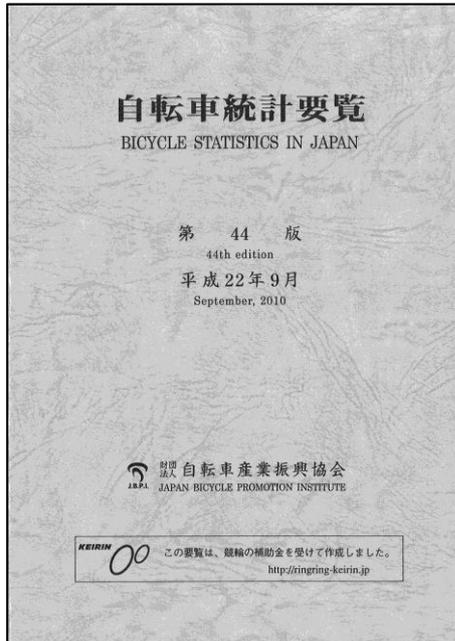
http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2011/04/00000550_20110411140900.pdf

http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2011/04/00000550_20110411141031.pdf

http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2011/04/00000550_20110411141143.pdf

⑤ 自転車情報収集整備提供

・ 自転車統計要覧第44版 (154頁)



自転車統計要覧第44版 目次	
自転車の分類	1
自転車関係表示マーク一覧	7
グラフで見る自転車の統計	11
日本の自転車概観 (GENERAL STATISTICS)	20
自転車の生産、出荷、輸出、輸入の年別推移	20
自転車生産動向・輸出入	24
生産統計 (PRODUCTION OF BICYCLES & PARTS)	27
完成車 (COMPLETE BICYCLES)	28
自転車部品 (BICYCLE PARTS)	40
タイヤ、チューブ (TIRES & TUBES)	50
生産、出荷、輸出、輸入	50
貿易統計 (FOREIGN TRADE STATISTICS)	52
年・月別ドル換算レート (U.S. DOLLAR EXCHANGE RATE)	53
輸出統計	54
完成車及び部品・付属品輸出実績 (EXPORT OF BICYCLES, PARTS & ACCESSORIES)	54
部品別輸出実績 (EXPORT OF PARTS BY ITEM)	56
仕向国別完成車及び部品輸出実績 (EXPORT OF BICYCLES & PARTS BY COUNTRY)	58
仕向国上位10ヶ国輸出実績	67
輸入統計	72
完成車及び部品・付属品輸入実績 (IMPORT OF BICYCLES, PARTS & ACCESSORIES)	72
完成車の車種別輸入実績 (IMPORT OF BICYCLES BY TYPE)	74
部品別輸入実績 (IMPORT OF PARTS BY ITEM)	80
仕入国別完成車及び部品輸入実績 (IMPORT OF BICYCLES & PARTS BY COUNTRY)	82
仕入国上位10ヶ国輸入実績	86
自転車国内販売動向調査	91
自転車安全整備等	99

工業統計	108
商業統計	113
自転車交通事故統計	124
海外資料 (BICYCLE INFORMATION OF FOREIGN COUNTRIES)	131
世界の主な自転車生産国 (GENERAL STATISTICS OF WORLD MAJOR BICYCLE COUNTRIES)	132
世界の自転車保有状況 (BICYCLE OWNERSHIP)	137
参考資料	138
自転車回収・処理のフロー	139
駅周辺における自転車の放置台数の推移	140
放置自転車の撤去・返還・廃棄の台数の推移	141
駅周辺における自転車の放置台数と駅周辺の自転車等 駐車場における自転車駐車可能台数の推移	142
自転車防犯登録の交付	143
自転車道に関する統計	144
自転車保有台数の推移	145
都道府県別自転車保有台数	146
自転車の普及率及び保有数量	147
1世帯当たり年間の自転車支出金額	148
自転車関連物価指数	149
日本の実行開税率表	150
自転車関係団体	154

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名 財団法人 自転車産業振興協会（ジテンシャサンギョウシンコウキョウカイ）

住所 107-0052

東京都港区赤坂一丁目9番3号

代表者 会長 阿部 忠壽（アベ タダヒサ）

担当部署 統括事業部

担当者名 次長 渡邊 裕二（ワタナベ ユウジ）

電話番号 03-5572-6411

Fax 番号 03-5572-6407

E-mail watanabe@jbpi.or.jp

U R L <http://www.jbpi.or.jp>

次ページ以降は、過去の補助事業の内容に関する資料となります。

電動アシスト自転車の安全性・利便性向上のための試験車両の研究開発
補助事業名：平成17年度自転車産業活性化のための基盤強化等補助事業
①自転車産業活性化促進 2)新商品・新技術研究開発

1993年(平成5年) 電動アシスト自転車発売

人のペダルをこぐ力に対するモーターが補助する力の比率が**最大1対1**と制限
(普及に伴って出てきた要望や課題)

ユーザの多くが女性や高齢者などのいわゆる体力弱者であることから 「発進時や低速時においてより安定的な走行、登坂走行を容易にすること」が求められてきた。



電動アシスト自転車 さらに安全に便利にするために

競輪補助事業である

平成17年度(2005年)自転車産業活性化のための基盤強化等補助事業

①自転車産業活性化促進 2)新商品・新技術研究開発

「電動アシスト自転車の安全性・利便性向上のための試験車両の研究開発」の実施

電動アシスト自転車安全普及協議会(電動アシスト自転車メーカーを会員団体)が
要望や課題を克服するために、さまざまな性能の試験用車両を製作し、モニターテストを
重ねて、公的機関で実証実験を行った。— 改正法令への働きかけ —



2008年(平成20年) 道路交通法施行規則一部改正

改正内容「時速10キロメートル未満の低速域において、人力に対するモーターの力の比率(アシスト比率)を**最大1対2**とした。(図参照)

(法改正後の影響)

○電動アシスト自転車の出荷台数の増加

→2000年14万6千台から2008年は31万6千台となり、初めて原付バイク(原動機付き自転車)の出荷台数を上回る。

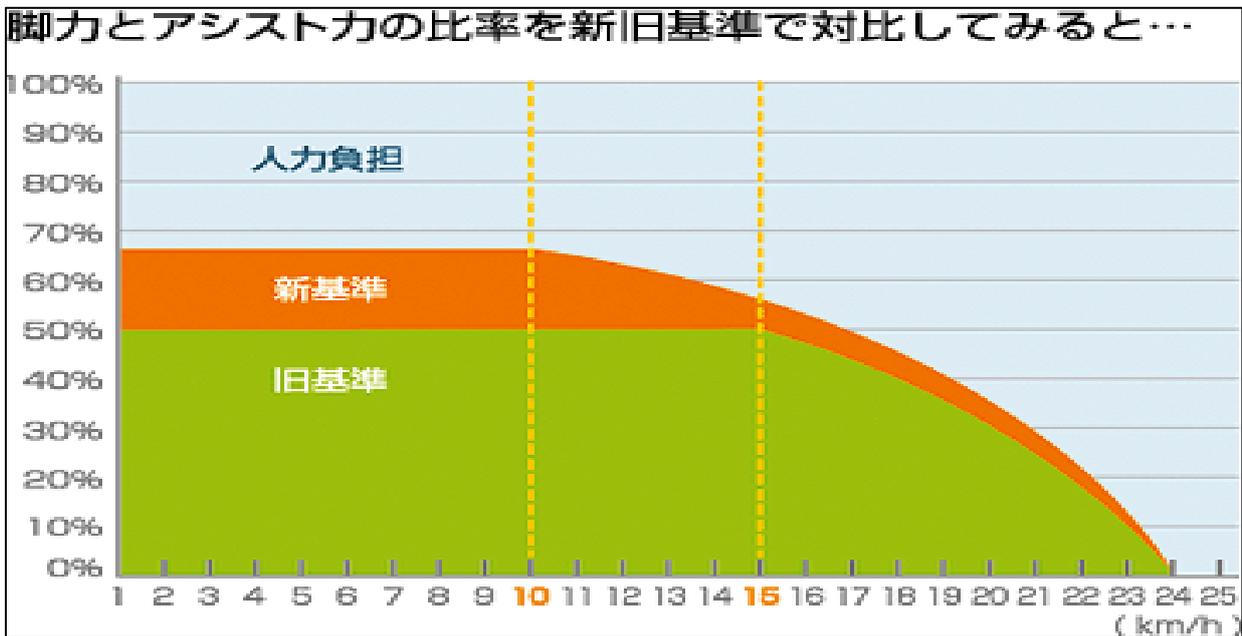
→その後も増加して、2010年には、外国メーカー車を除くバイク全体の同出荷台数(38万242台)を、初めて年間で上回った。

→2011年には42万9千台となった。

○性能アップにより、平成21年4月から認められた「幼児2人同乗用自転車」のような、重量がありふらつく自転車にも電動アシスト自転車のラインナップが増えた。

(参考データ)

- 時速 10 キロメートル未満の低速域において、人力に対するモーターの力の比率（アシスト比率）を最大 1 対 2 とした。



- 電動アシスト自転車の出荷台数の増加

